

第35回 林忠彦賞 作品募集

Hayashi Tadahiko Award

2026年 12月31日(木) 必着!!

社会は心を撃つ写真をさがしています
Who is the next?



動物園で熊の檻の前にささったロシア軍のロケット弾 ミコライウ 2022年9月



遠くで防空警報のサイレンが鳴る中で川で水遊びをしていた母子 ミコライウ 2022年8月

第34回(前回)受賞作「ХЕРСОН ヘルソン——ミサイルの降る夜に」佐々木 康

【賞】

ブロンズ像(笹戸千津子作「爽」)及び**賞金100万円**

【選考委員】

大石 芳野 写真家
大西 成明 写真家
小林 紀晴 写真家
丹羽 晴美 東京都写真美術館 事業企画課長
有田 順一 周南市美術博物館館長

(敬称略)

時代を物語る写真を撮り続けた林忠彦。
林の精神を継承し、未来を切り開く
写真家を見いだすことを目的に募集します。



林 忠彦 (1918～1990)

山口県周南市生まれ。代表作「太宰治」「織田作之助」らの作品で認められ、20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。一方で日本写真家協会の母体となる「写真家集団」発足に参加、秋山庄太郎らと二科会写真部を創設するなど、プロ・アマを越えて写真家の育成にも力を注いだ。

■最新の情報はホームページでご確認ください。

